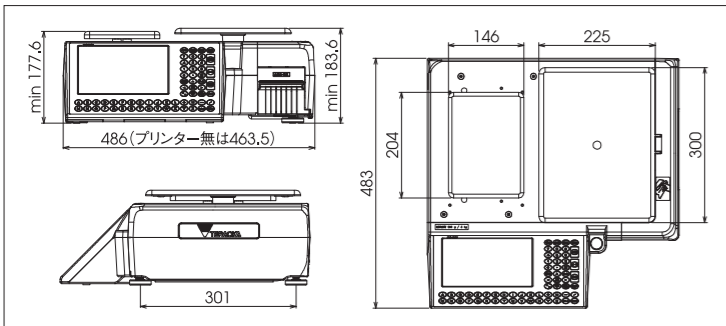


仕様

内部分解能	1/500,000(ロードセル) 1/1,000,000(ワイドレンジセンサー)
表示分解能	1/5000(1/10000、1/2500選択可能) ※ロードセルのみ
質量検出	ロードセル、ワイドレンジセンサー
ディスプレイ	バックライト付き8.4インチカラー液晶タッチパネル VGA(縦)480ドット×(横)640ドット
アイテムメモリー	アイテムデータ 最大8000件(LAN使用時同様) MAX1.8MB 本体標準メモリー 2Mバイト(登録可能ファイル数 MAX512件) 外部フォントメモリー内蔵(8MB) 専用コンパクトフラッシュカードアダプタ付属(音声ファイル入り)
インターフェース	LAN:100Base-Tx アンフェノール:外部ロードセル接続 RS-232C:専用バーコードスキャナ、外部専用フォースバランス、PC セットポイント:オープンコレクタ出力 PCMCIA×2スロット:CFカード USB PS/2:専用バーコードスキャナー、純正キーボード
印字方式	サーマル印字/熱転写印字(インクリボンカセットオプション)
印字速度	70~150mm/秒 (剥離発行時70~100mm/秒)
印字密度	8ドット
印字幅	80mm
ラベルサイズ	[幅]20~80mm(熱転写かつ剥離発行時40~80mm) [長さ]23~500mm [インクリボン長]100m/ロール
発行方式	前方排出:剥離
印字文字種類	英数・カタカナ・ひらがな・特殊記号・JIS第一水準・JIS第二水準・外字
バーコード種類	JAN・EAN・UPCA・CODE128・CODE39・ITF・NW-7・EAN128・MATRIX2of5
2次元バーコード種類	QRコード、PDF417
文字フォント・サイズ	[英 数 字] SANS(7種) OCRB(4種) Arial(3種) [か な 漢 字] 15×15ゴシック体 18×21ゴシック体 23×23ゴシック体 35×36ゴシック体 24×24明朝体 [外部フォント] 15×15~128×128(※)
自重	15.5Kg(プリンター付) 12.5Kg(プリンター無)
電源	AC100V ±10% 50/60Hz
消費電力	プリンター付き:最大100W(プリンター使用ピーク時) プリンター無し:最大30W
使用環境	温度:5℃~35℃ (熱転写印字時:10℃~35℃) 湿度:80%RH以下(結露不可)

※別途パソコン用フォントCD-ROMと書き込み手数料が必要です。

外形寸法図(mm)



※専用風防は内蔵スケール2kg以下のひょう量スケールに標準付属品となっています。

※記載されている画面およびプリント例はハメコミ合成です。

新しい常識を創造する

株式会社 寺岡精工

ロジスティクスソリューション事業部
〒146-8580 東京都大田区久が原 5-13-12
TEL:03-6894-2020
www.teraokaseiko.com



DC-350IIシリーズ ラインナップ

プリンタータイプ	型式名	秤量	最小表示及び推奨計数可能単量	推奨計数可能最小重量	皿寸法(mm)
2スケール内蔵 プリンター付タイプ	DC-350II P G200/K2.5	スケール1 200g スケール2 2.5kg	0.01g 0.5g	0.05g 2.5g	100×105 225×300
	DC-350II P G500/K5	スケール1 500g スケール2 5kg	0.1g 1g	0.5g 5g	146×204 225×300
	DC-350II P K1/K5	スケール1 1kg スケール2 5kg	0.05g 1g	0.25g 5g	182×194 225×300
	DC-350II P K2/K10	スケール1 2kg スケール2 10kg	0.1g 2g	0.5g 10g	182×194 225×300
2スケール内蔵 プリンター無タイプ	DC-350II P G200/K5 (プリンター付モデルのみ)	スケール1 200g スケール2 5kg	0.01g 1g	0.05g 5g	100×105 225×300
	DC-350II P G200	200g	0.01g	0.05g	100×105
1スケール内蔵 プリンター付タイプ	DC-350II P G500	500g	0.1g	0.5g	146×204
	DC-350II P K1	1kg	0.05g	0.25g	182×194
	DC-350II P K2	2kg	0.1g	0.5g	182×194
	DC-350II P K2.5	2.5kg	0.5g	2.5g	278×398
1スケール内蔵 プリンター無タイプ	DC-350II P K5	5kg	1g	5g	278×398
	DC-350II P K10	10kg	2g	10g	278×398
	DC-350II P K25	25kg	5g	25g	278×398
	DC-350II P C	-	-	-	-

※専用風防は内蔵スケール2kg以下の秤量スケールに標準付属品となっています。
※最小表示の緑数字はワイドレンジセンサー及びフォースバランスの為、最小表示は上記仕様固定になります。

外部スケール(オプション)

	型式名	秤量	最小表示及び推奨計数可能単量	推奨計数可能最小重量	皿寸法(mm)
フォースバランス	S-HG 200	200g	0.001g	0.002g	φ85
	S-UX 300 (S-UX300)	300g	0.01g	0.02g	108×105
卓上型スケール	S-XA G500	500g	0.1g	0.5g	204×146
	S-XA K1	1kg	0.2g	1g	247×180
	S-XA K2.5	2.5kg	0.5g	2.5g	398×278
	S-XA K5	5kg	1g	5g	398×278
	S-XA K10	10kg	2g	10g	398×278
プラットフォーム型スケール	S-SK 25	25kg	5g	25g	318×420
	S-SK 50	50kg	10g	50g	318×420
	S-TK 100	100kg	20g	100g	415×520
	S-UK 250	250kg	50g	250g	598×700
	S-VK 500	500kg	100g	500g	598×700
バー型スケール	S-LK 1000	1t	200g	1000g	-
	S-LK 2500	2.5t	500g	2500g	-

※上記では最小表示の質量単位を全て「g」で表記しておりますが、ご使用環境や秤量タイプにより質量単位を「kg」でご使用頂く場合がございます。恐れ入りますが販売店までお問い合わせ下さい。
※ロードセルタイプの最小表示は(1/10000、1/5000、1/2500)に切替可。上記表にてロードセルは1/5000で表記しております。
※最小表示の緑数字はワイドレンジセンサー及びフォースバランスの為、最小表示は上記仕様固定になります。

専用バーコードスキャナー(別売オプション)

DC-350IIに登録したアイテムを呼び出すのに欠かせないバーコードスキャナー。部品コード(呼び出し番号)バーコードをスキャニングすれば大切なデータを容易に表示させられます。



●ワイヤレスタイプ

●有線タイプ

二次元コードスキャナー

●本カタログに記載しております内容は予告なしに変更する場合があります。
●本カタログに記載されている内容は平成28年4月現在のものです。
●製品写真は印刷物ですので、実際の色と異なる場合があります

610401015
A1604AV#



DC-350II

デジタルカウンティングスケール

Evolved Controller

音声機能を搭載した進化形コントローラー



Searching for
a New Balance

高機能型カウンティングスケールの進化形誕生!

見やすい画面と新機能で計数現場をサポートします。新たに音声機能も搭載しているので操作性も格段に向上します。



「見やすい」「操作しやすい」大型カラータッチパネル

8.4インチの大型カラーパネルを採用、見る角度によって左右されにくい「見やすい」「操作しやすい」仕様になっております。カラータッチパネルに直接タッチすることで作業がよりスムーズになり、暗所でもはっきり画面が確認出来ます。

品番(部品コード)を最大32桁に拡大!

個数のセンター表示
重要な個数表示は、画面のセンターに大きく見やすく配置しました。

可動スケールゲージ
使用しているスケールナンバーのゲージが稼働し、ひょう量までどれくらいか瞬時に判別できます。

判別しやすい4文字区切り
ロットナンバーや部品コード等の長い英数字は、4文字ごとの位置マーカーを配置しました。

▼原寸大: W172mm×130mm

表示部

機能キー

機能キーのサイズ配置も自由自在
使用頻度の高いキーのサイズを大きくしたり、配置を変えたり調整が可能です。

画面上で在庫数表示
出庫と入庫を使い分ける事により、内部に登録したアイテムの在庫数が確認できます。

音声通知の入数機能
入数に個数を設定すると、実績数がその個数になった時に音と画面の色を変えてお知らせします。

最大3スケール対応
最大3つのスケールを使い分けることで、重さの異なる計数物に対応できます。(外部スケール接続時)

音声機能搭載 / 音声ガイダンス

計数作業時に押された数字キーやアルファベットキーを発声アナウンスします。押したキーを音声で認識することができるので、画面で再確認する作業が軽減できます。指示数に対する「あと何個です」等のガイダンスも行います。

※付属のCFカードをカードスロット上段に差すことで音声機能が働きます。

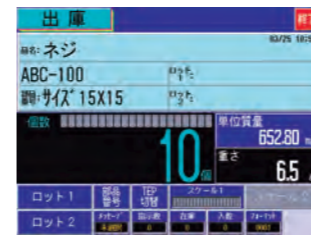


寺岡の計数機能

計数誤差を減らすためにはより正確な単位質量を求め、さらにたくさんの計数物を一度に載せ過ぎない事が重要なポイントになります。DC-350IIはそのサポートとして、通常計数方法にプラスして特別な2つの計数モードをご用意しました。

AP-1機能

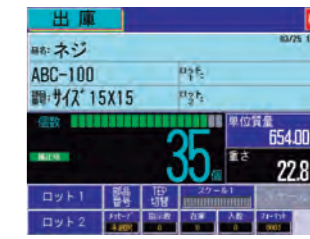
単位質量の補正を最適な範囲時のみ自動で実施させながら計数する方法です。サンプル取りからスタートして、計数物追加ごとに安定タイミングで自動補正を行います。載せすぎた時は補正せず個数表示を点滅させてお知らせします。



1 サンプル取りを行います。
例) 10個載せ (1) (2) (3) の順にキーを押します。



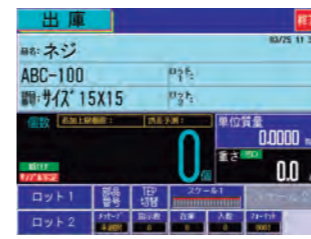
2 単位質量を求めた時の倍以内の表示個数になるよう追加で載せます。
例) 前が10個載っているため、表示個数が20個以内の時にはかりが安定した5「ピツ」と音が鳴り、自動的に単位質量の補正を行います。



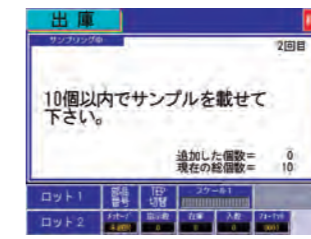
3 あとは同様に表示個数が倍以内になるよう計数物を追加で載せていき補正を繰り返して行えばより安全な計数作業が行えます。
例) 先ほどが18個ですから36個以内でOK。

新TEP機能

計数物のバラツキを基に「追加上限個数」を算出して、これを超えないように載せていく事でたくさんの量を安全に計数する方法です。計数物を載せていく度に安定タイミングで独自の内部補正を行います。上限個数を超えて載せてしまった場合には内部補正を行わず誤差予測値を表示します。



1 TEP切替キーをタッチします。
(追加上限個数と誤差予測値が表示されます。)
10個載せて (1) (2) (3) の順にキーを押します。



2 画面に従いサンプル取りを数回行い「追加上限個数」が算出されます。
(求めた上限個数はマスタ登録も可能です。)



3 追加上限個数を超えないように計数物を載せます。(追加上限個数がカウントダウンします。) かりが安定すると「ピツ」と音が鳴り追加上限個数がリセットされ、再び追加上限個数を超えないように載せていきます。この繰り返しでたくさんの量を安全に計数できます。

計数～ラベル印字～実績管理(トレーサビリティ)までの流れ

1 アイテムの呼び出し
オプションのスキナーで品番バーコードをスキャン。(キー入力も可)

2 AP-1でカンタン計数
始めはサンプリング作業。あとは倍以内を載せていきます。**平均単重の更新**

3 ラベル発行
計数完了時にラベルを発行し商品に貼り付けます。

4 パソコンで実績確認
DC-350II内部に保存した実績データをUSB経由でパソコンへ渡せます。

ラベル印字有無を自由に設定

ラベル印字を「する」「しない」の選択はもちろん、印字する場合でもデザインの選択がタッチで行えます。

フォーマット

0001

▲印字有りの時

フォーマット

印字禁止

▲印字無しの時

充実したインターフェース

1 ロードセル1 6 USB1・2*

2 ロードセル2 7 PCMCIA1・2

3 外部フォースバランス 8 LAN

4 スキャナー 9 RS-232C

5 セットポイント 10 PS/2

※USBを使用できるのは1スロットのみです。その場合、PCMCIA1・2のスロットを1つ使用できなくなります。